(氏名)増田 正

(学部)地域政策学部

1 重要事項

①研究

・研究課題「地方議会における議員と会派の政策志向に関する内容分析」(科研費・基盤 C 2019 年度~2022 年度、研究代表者増田正)の 最終年度にあたる。地方議会に関する研究成果を広く社会に還元するため、報告書(冊子)を作成し、都道府県、政令市、中核市及び県内基礎自治体に送付した。報告書に収録した論文のうちの 2 本は、本年度に執筆したものである。

論文1)「群馬県内人口20万人以上の4市議会における「会派」の政策関心―対応分析を用いて―」(増田正・鈴木宏幸)『地域政策研究』第25巻1号 2022.8 pp.1-19。 論文2)「桐生市議会一般質問に見る改革争点―対応分析を用いて―」(増田正・爲我井慎之介)『地域政策研究』第25巻2号 2022.12 pp.39-56。

②教育

- ・講義が原則対面化される中で、紙媒体(コメントペーパー)による課題提出(14回)を継続してきた。教室において課題を提出させる方法にこだわってきたわけだが、10月下旬、その場での回収が難しくなったため、Teams による電子的回収にやむを得ず変更した。提出可能時間を制限したり、パスコードを設定したりして、学生たちが教室で受講し続けられる仕組みを工夫した。電子提出は、本学のwifi環境に大きく依存するため、試行錯誤しながら、不満が出ないように丁寧に対応した。教育効果を考え、毎回の課題は継続していきたい。
- ・2023年2月27日には、主権者教育の実践事例として、ゼミ生11名をぐんまシチズンシップアカデミーまで引率し、県議会を傍聴させ、県議との意見交換を経験させた。大学生の意見を県政に伝えるお手伝いができたのではないか。
- ・ゼミは選挙啓発を軸に、6月にはオープンキャンパス会場での高校生に向けた模擬選挙(対面)や、11月7日~13日、高崎市長模擬選挙をオンラインで実施した。11月11日には、学内における期日前投票所の設置促進デモンストレーションを兼ねて、図書館で期日前投票を実施した。選挙啓発は、学生の自主性を尊重した活動としている。

③社会貢献

- ・主権者教育アドバイザーとして、11月29日(横浜市港北区)「地方自治は民主主義の学校か―地方議員の役割と市民の期待」)、2月21日(富山県)「若年層の主権者教育について」の2講演を行った。
- ・3年連続、現代政治論の特別講義「議員に密着ゼミナール」(12月22日)を実施した。詳細は群馬県議会のサイトに掲載されているので、以下を参照されたい。

https://www.pref.gunma.jp/site/gikai/175606.html

本事業は定着した感があるので、先方から要望があれば、引き続き実施していきたい。 ・3月2日、高崎市・女性の政治参画講演会「女性の政治参画で社会は変わる」を本学 132教室(ハイフレックス方式)にて実施した。

④大学行政

・図書館長(2 年目)として、知の拠点としての図書館の機能を維持しながら、開かれた図書館づくりと多面的な活用のために努力した。コロナ後を見据えての緩和策を中心に展開し、ジャーナル費用の高騰化の中、関係予算の維持・確保に苦心した。

2 その他の事項

- 3 次年度以降の計画・抱負
- ・国際交流センター長に指名されたので、コロナ後の海外研修支援事業の本格的な再開 に向けて、関係各所と協議しながら、しかるべき準備と作業を進めていきたい。